

科目名	国際観光論																																		
担当教員	出口 竜也																																		
対象学年	1年	クラス	T1																																
講義室	T-101	開講学期	前期																																
曜日・時限	木1	単位区分	選必																																
授業形態		単位数	2																																
準備事項																																			
備考																																			
科目名(英語表記)	International Tourism																																		
授業の概要・ねらい	観光の国際化が経済的、政治的、社会的、環境的にどのような影響を与え、どのような課題を生み出しているかを主として日本を起点としたインバウンドを中心に考察していく。国内外の様々な事例を盛り込むことで、可能な限り具体的に、かつ分かりやすく説明していきたい。また、国内外の国際観光の事例に明るいゲスト講師をお招きし、インバウンドの最前線の現状を知る機会もつくる予定である。																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクションー授業の目的と進め方ー</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国際観光のフレームワーク(1)ー外なる国際化ー</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>国際観光のフレームワーク(2)ー内なる国際化ー</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>世界の国際観光の歴史と現状</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>日本の国際観光の歴史</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>日本の国際観光の現状(1)ーアウトバウンドー</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>日本の国際観光の現状(2)ーインバウンド(その1)ー</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>日本の国際観光の現状(3)ーインバウンド(その2)ー</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>日本の国際観光の現状(4)ーインバウンド(その3)ー</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>日本の国際観光の現状(5)ーインバウンド(その4)ー</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>ケーススタディ(1)ー観光関連産業の国際化の現状と課題ー</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>ケーススタディ(2)ーインバウンド観光の最前線ー(ゲスト講師を招へいする予定)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>ケーススタディ(3)ー観光地の国際化(その1)ー</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>ケーススタディ(4)ー観光地の国際化(その2)ー</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめー日本の国際観光の展望ー</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	イントロダクションー授業の目的と進め方ー	2	国際観光のフレームワーク(1)ー外なる国際化ー	3	国際観光のフレームワーク(2)ー内なる国際化ー	4	世界の国際観光の歴史と現状	5	日本の国際観光の歴史	6	日本の国際観光の現状(1)ーアウトバウンドー	7	日本の国際観光の現状(2)ーインバウンド(その1)ー	8	日本の国際観光の現状(3)ーインバウンド(その2)ー	9	日本の国際観光の現状(4)ーインバウンド(その3)ー	10	日本の国際観光の現状(5)ーインバウンド(その4)ー	11	ケーススタディ(1)ー観光関連産業の国際化の現状と課題ー	12	ケーススタディ(2)ーインバウンド観光の最前線ー(ゲスト講師を招へいする予定)	13	ケーススタディ(3)ー観光地の国際化(その1)ー	14	ケーススタディ(4)ー観光地の国際化(その2)ー	15	まとめー日本の国際観光の展望ー
回	内容																																		
1	イントロダクションー授業の目的と進め方ー																																		
2	国際観光のフレームワーク(1)ー外なる国際化ー																																		
3	国際観光のフレームワーク(2)ー内なる国際化ー																																		
4	世界の国際観光の歴史と現状																																		
5	日本の国際観光の歴史																																		
6	日本の国際観光の現状(1)ーアウトバウンドー																																		
7	日本の国際観光の現状(2)ーインバウンド(その1)ー																																		
8	日本の国際観光の現状(3)ーインバウンド(その2)ー																																		
9	日本の国際観光の現状(4)ーインバウンド(その3)ー																																		
10	日本の国際観光の現状(5)ーインバウンド(その4)ー																																		
11	ケーススタディ(1)ー観光関連産業の国際化の現状と課題ー																																		
12	ケーススタディ(2)ーインバウンド観光の最前線ー(ゲスト講師を招へいする予定)																																		
13	ケーススタディ(3)ー観光地の国際化(その1)ー																																		
14	ケーススタディ(4)ー観光地の国際化(その2)ー																																		
15	まとめー日本の国際観光の展望ー																																		
到達目標	日本における国際観光の現状を概略的に理解するとともに、国際観光をめぐる諸問題を学際的な視点で分析する能力を養成する。																																		
成績評価の方法	期末試験(70%)、中間試験もしくはレポート(1回予定:30%)に出席状況を加味して評価する予定です。また、受講者数にもよりますが、授業の際に発言を求める機会を持つことも検討しています。その場合は発言に対して加点を行います。																																		
教科書	特に使用しません。資料等を配布し、授業を行う予定です。																																		
参考書・参考文献	山田拓(2018)『外国人が熱狂するクールな田舎の作り方』新潮新書 ほか数冊程度紹介する予定です。																																		
履修上の注意・メッセージ	授業をしっかりと聞き、しっかりとノートをとるだけでなく、自らいろいろと調べて得られた知見をもとにレポートや試験などの課題に取り組んでください。また、言うまでもありませんが、授業中の迷惑行為や私語は厳禁です																																		
履修する上で必要な事項	授業開始時間に遅れないようにしてください。																																		
受講を推奨する関連科目	観光経営関連の科目																																		
授業時間外学修についての指示	毎回、授業の最後の時間において予習・復習すべき課題を指示しますので、必ずそれらの課題をしっかりとこなした上で次回の授業に臨んでください。																																		
その他連絡事項																																			
科目ナンバリング																																			